

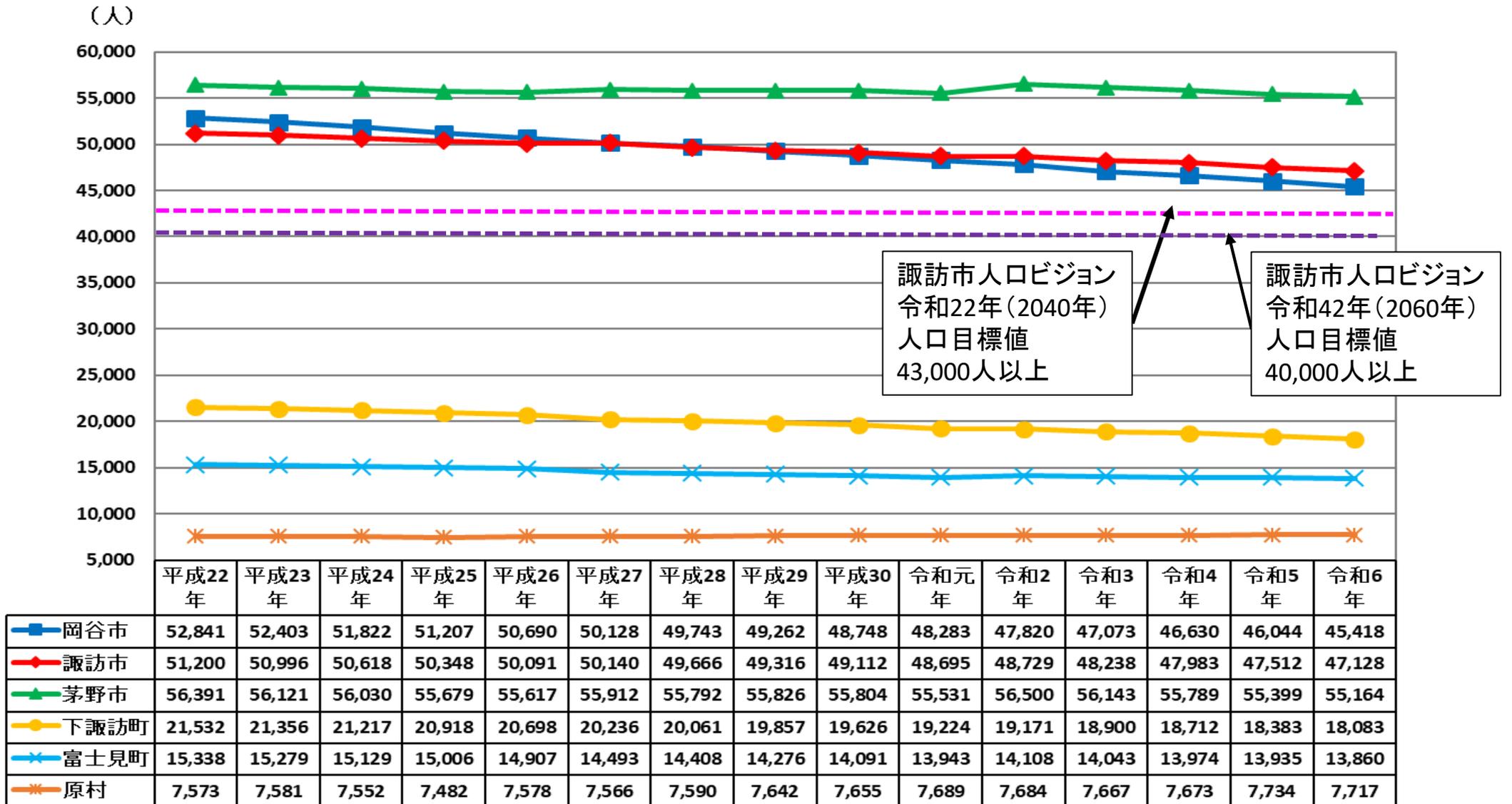
# 直近の諏訪市人口動態について

令和7年6月

諏訪市企画部企画政策課

# 諏訪地域6市町村の人口推移（人数）

- ・ 諏訪市の人口は47,128人(令和6年10月1日現在)であり前年比384人減となっている。
- ・ 諏訪圏の令和6年の人口は187,370人。

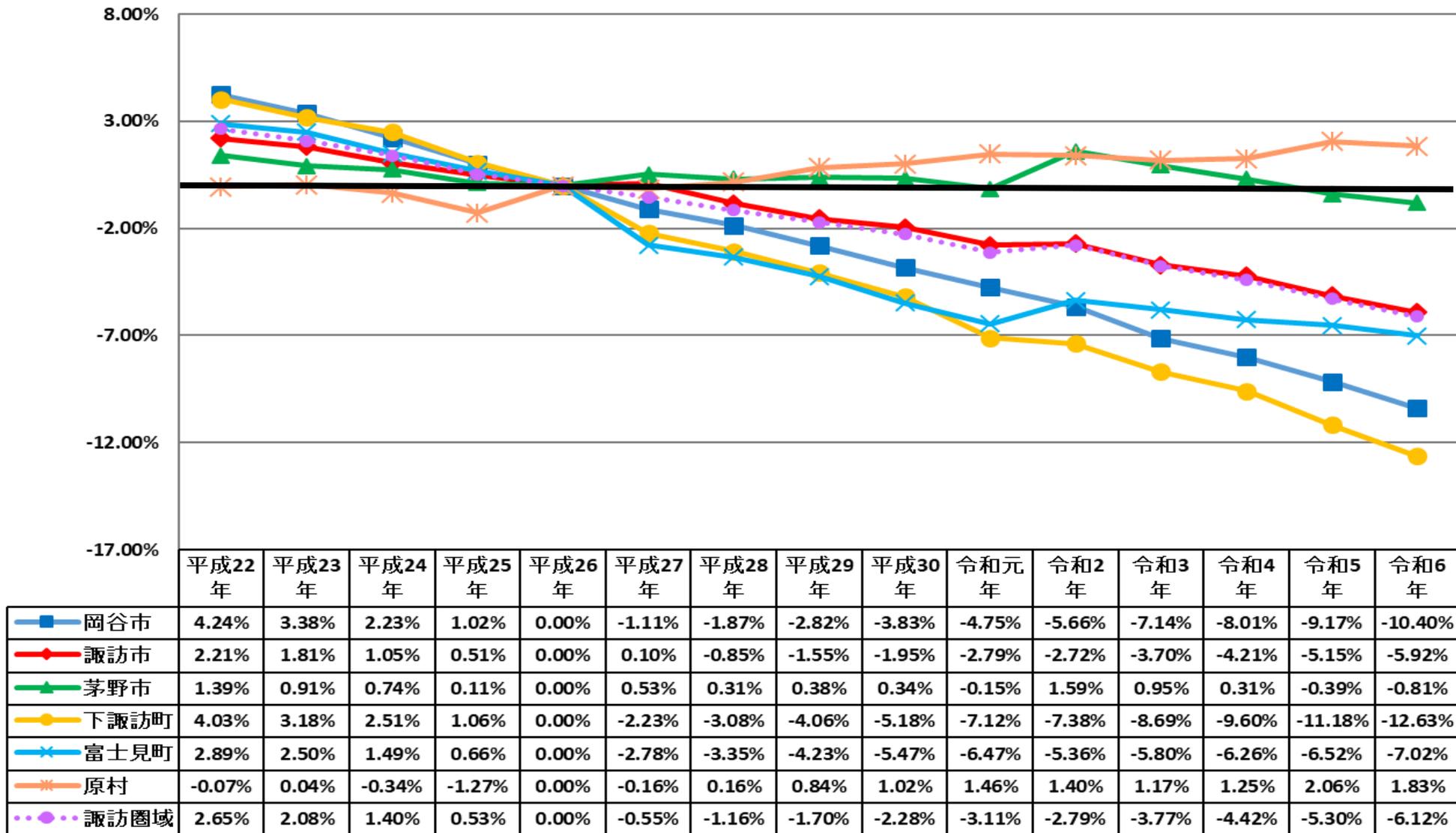


(資料) 総務省「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」(令和6年10月1日時点)

# 諏訪地域6市町村の人口推移（増減率）

※平成26年を基準にした総人口増減率の推移

- ・ 下諏訪町、岡谷市、富士見町の順で減少率が大きく、諏訪市が続く。
- ・ 諏訪市は諏訪圏域とほぼ同様の減少率。

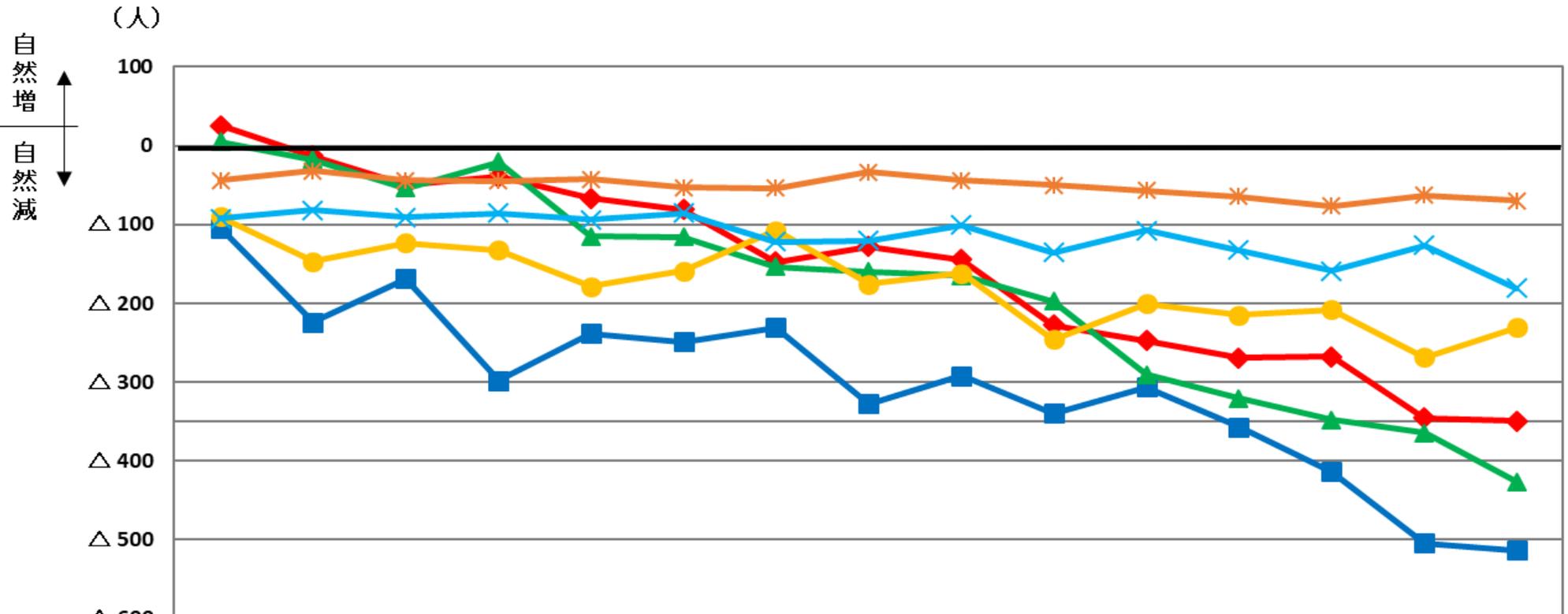


(資料)総務省「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」(令和6年10月1日時点)

# 諏訪地域6市町村の自然増減（人数）

※令和5.10.1～令和6.9.30までの1年間の集計

- ・ 諏訪地域の全市町村が14年連続自然減となっている。
- ・ 諏訪市は令和6年は350人減で、令和5年から引き続き300人台の自然減となった。



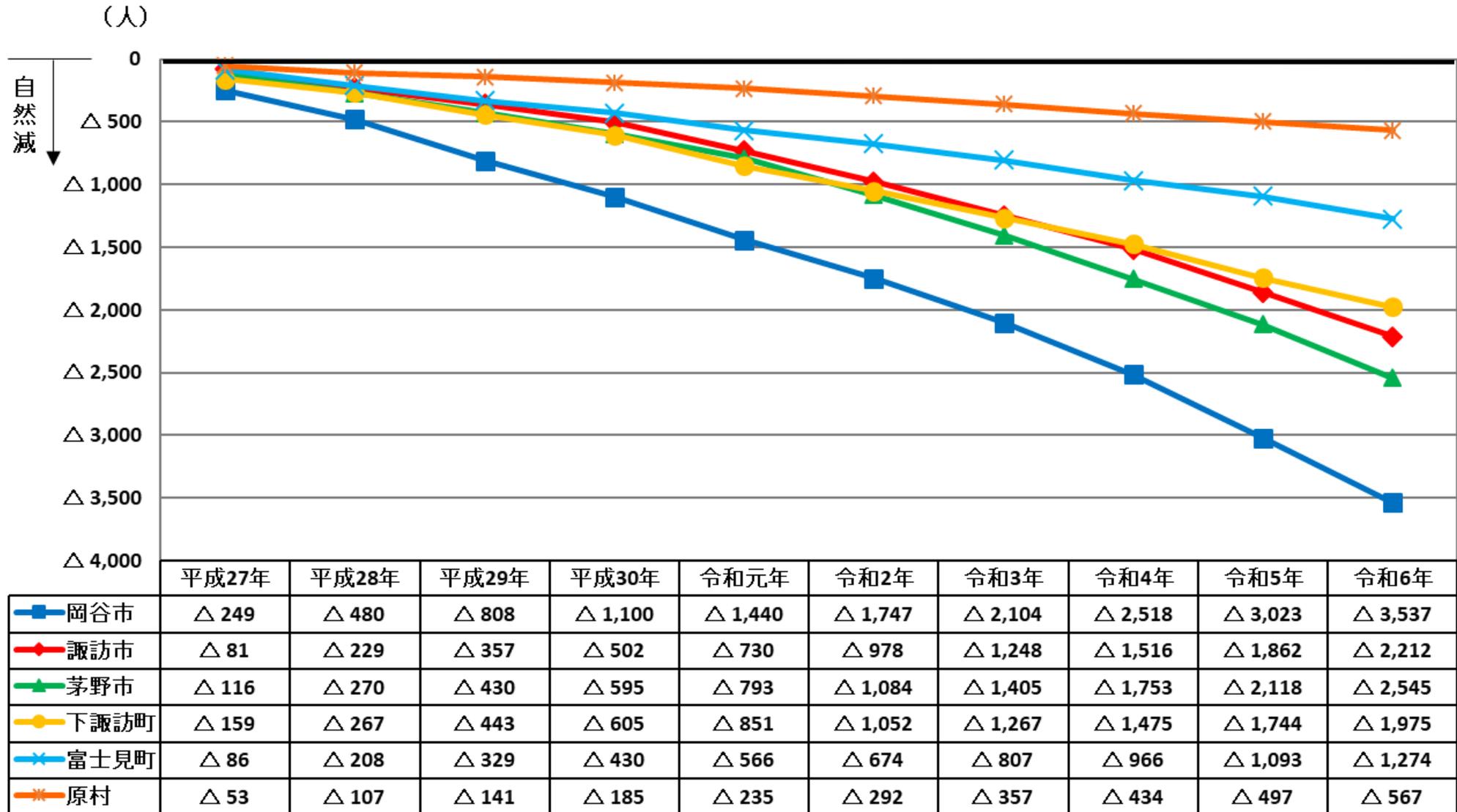
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
■ 岡谷市	△ 105	△ 224	△ 169	△ 298	△ 239	△ 249	△ 231	△ 328	△ 292	△ 340	△ 307	△ 357	△ 414	△ 505	△ 514
◆ 諏訪市	25	△ 13	△ 50	△ 40	△ 67	△ 81	△ 148	△ 128	△ 145	△ 228	△ 248	△ 270	△ 268	△ 346	△ 350
▲ 茅野市	5	△ 18	△ 54	△ 21	△ 115	△ 116	△ 154	△ 160	△ 165	△ 198	△ 291	△ 321	△ 348	△ 365	△ 427
● 下諏訪町	△ 90	△ 147	△ 124	△ 133	△ 179	△ 159	△ 108	△ 176	△ 162	△ 246	△ 201	△ 215	△ 208	△ 269	△ 231
✕ 富士見町	△ 93	△ 82	△ 91	△ 86	△ 94	△ 86	△ 122	△ 121	△ 101	△ 136	△ 108	△ 133	△ 159	△ 127	△ 181
✱ 原村	△ 44	△ 32	△ 44	△ 45	△ 43	△ 53	△ 54	△ 34	△ 44	△ 50	△ 57	△ 65	△ 77	△ 63	△ 70

(資料)長野県「毎月人口異動調査」(令和6年10月1日時点)

# 諏訪地域6市町村の自然増減（累積）

※平成27年以降の自然増減数の累計

- ・ 6市町村全て自然減傾向である。
- ・ 岡谷市の減少が大きい。

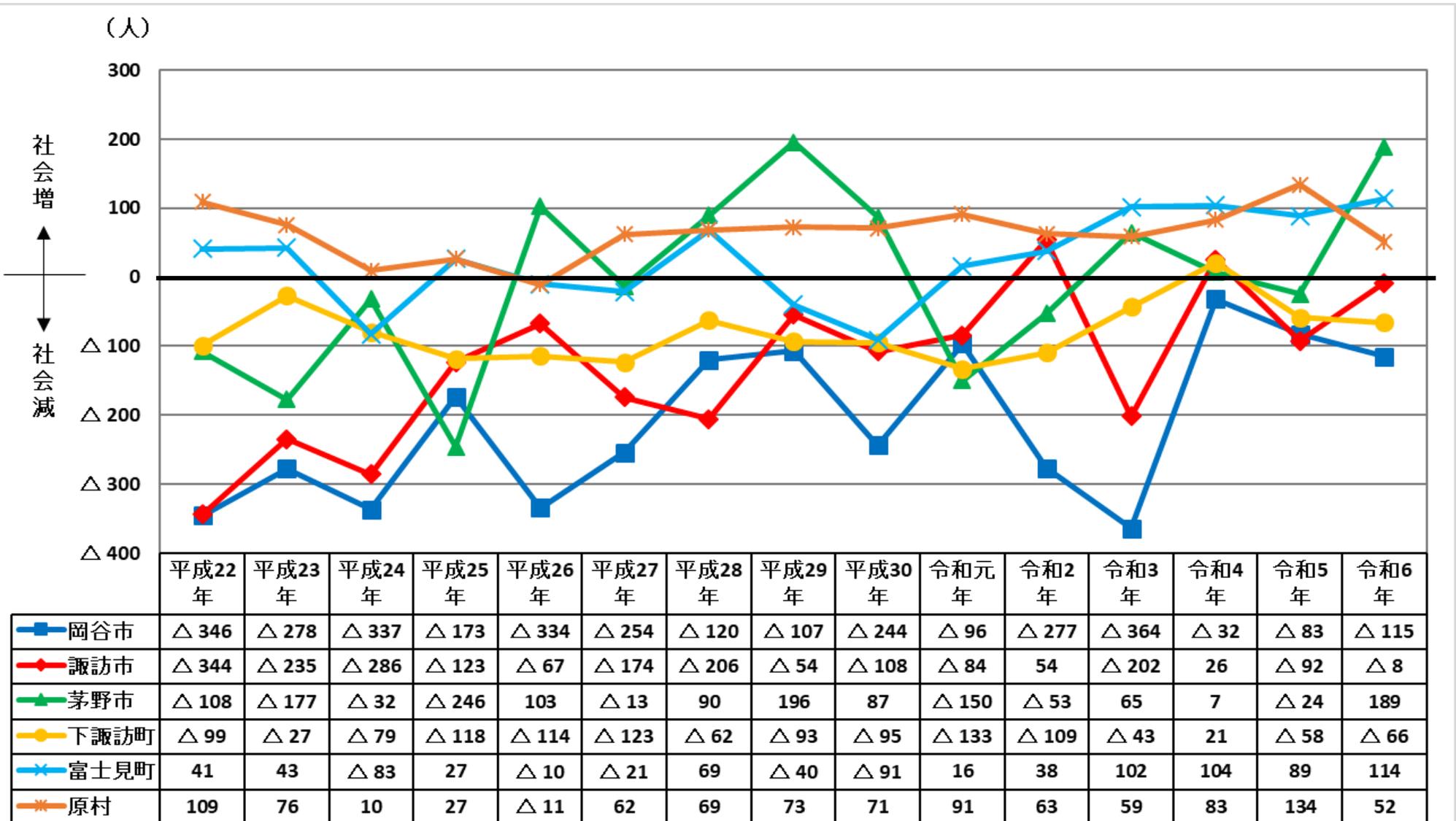


(資料)長野県「毎月人口異動調査」(令和6年10月1日時点)

# 諏訪地域6市町村の社会増減（人数）

※令和5.10.1～令和6.9.30までの1年間の集計

- ・ 諏訪市は令和5年に比べて令和6年は社会減の数が小さくなった。
- ・ 令和6年は茅野市、富士見町、原村は社会増となり、富士見町、原村は社会増が継続している。

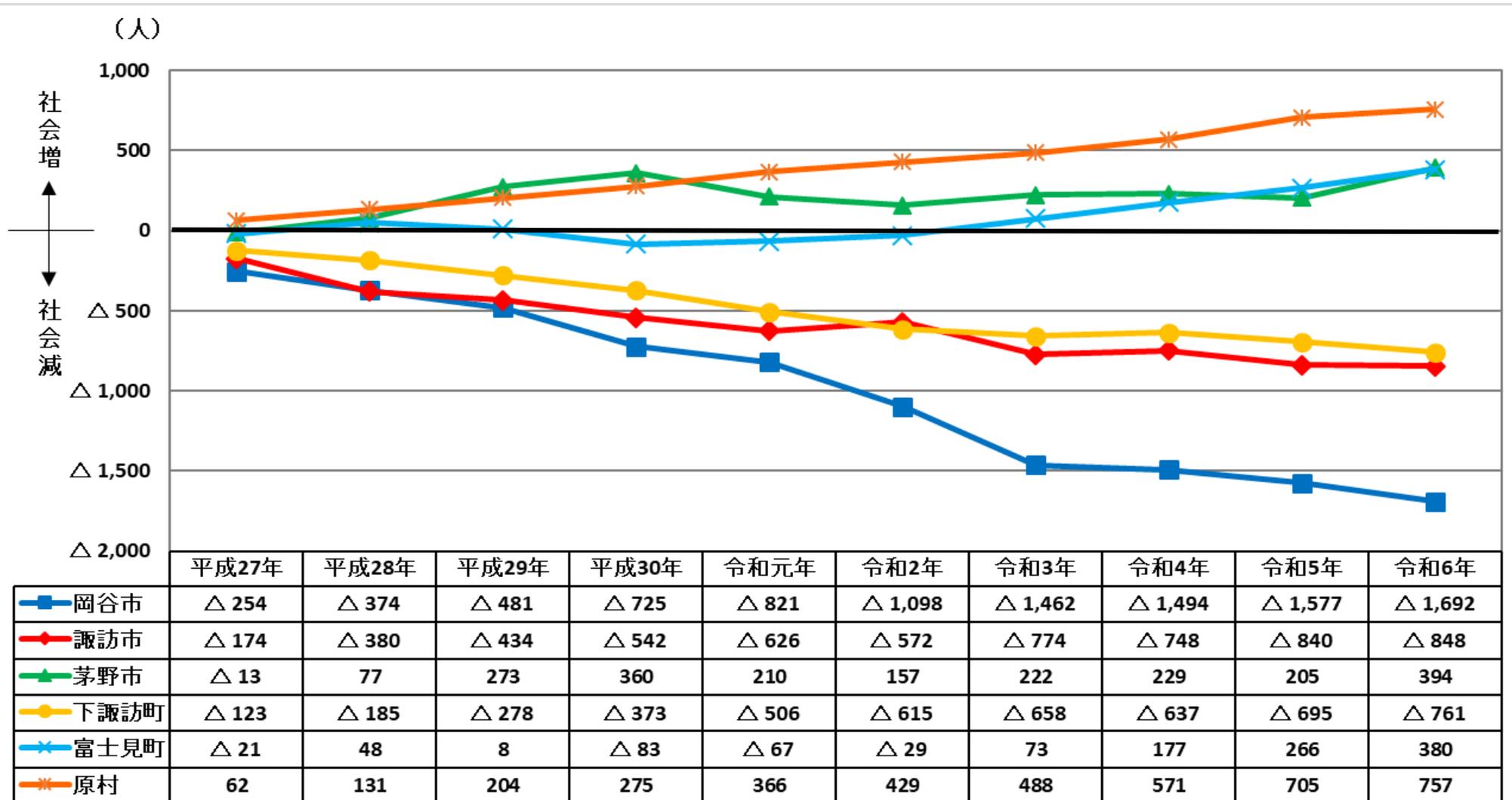


(資料)長野県「毎月人口異動調査」(令和6年10月1日時点)

# 諏訪地域6市町村の社会増減（累計）

※平成27年以降の社会増減数の累計

- ・茅野市、富士見町、原村は増加傾向、その他の市町は減少傾向にある。
- ・富士見町はコロナ禍以降の増加が顕著に表れている。



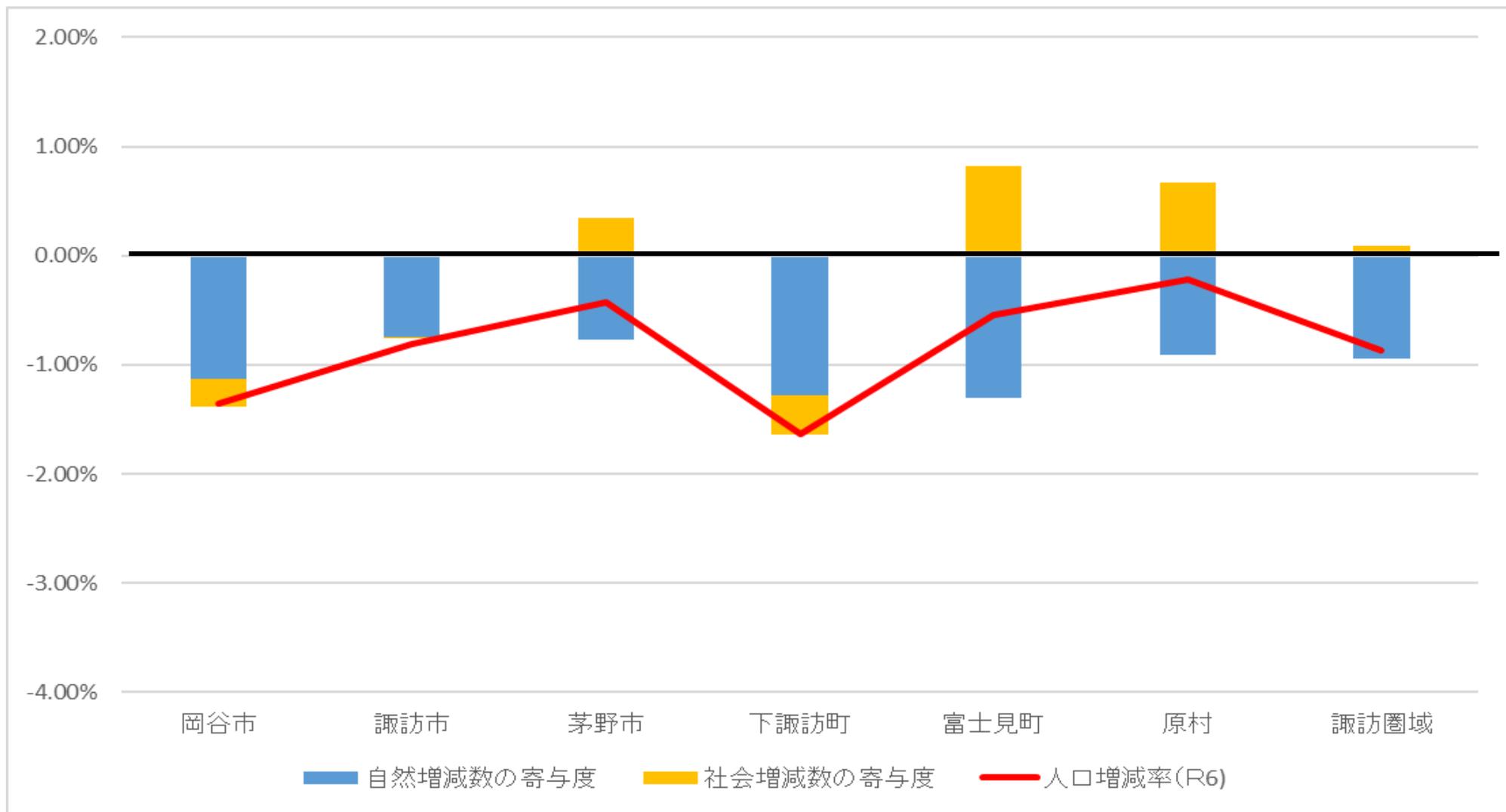
(資料)長野県「毎月人口異動調査」(令和6年10月1日時点)

# 自然増減社会増減の人口に対する寄与度（令和6単年）⑦

※寄与度：合計値の変動にどれだけ影響があったのかを示す数値

自然増減数の寄与度 = 令和6年の自然増減数 ÷ 令和6年総人口

社会増減数の寄与度 = 令和6年の社会増減数 ÷ 令和6年総人口

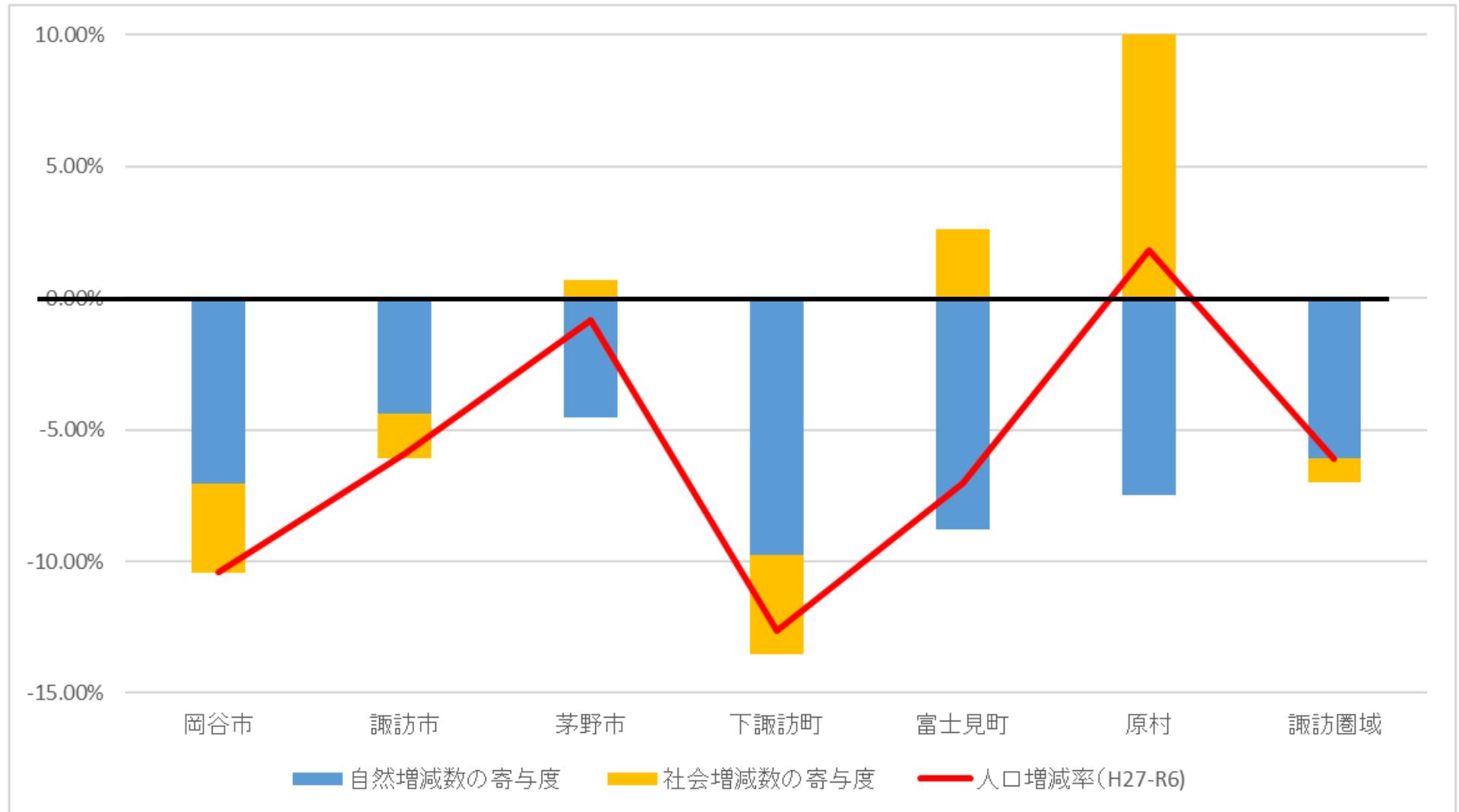


# 自然増減社会増減の人口に対する寄与度（平成27～令和6）⑧

※寄与度：合計値の変動にどれだけ影響があったのかを示す数値

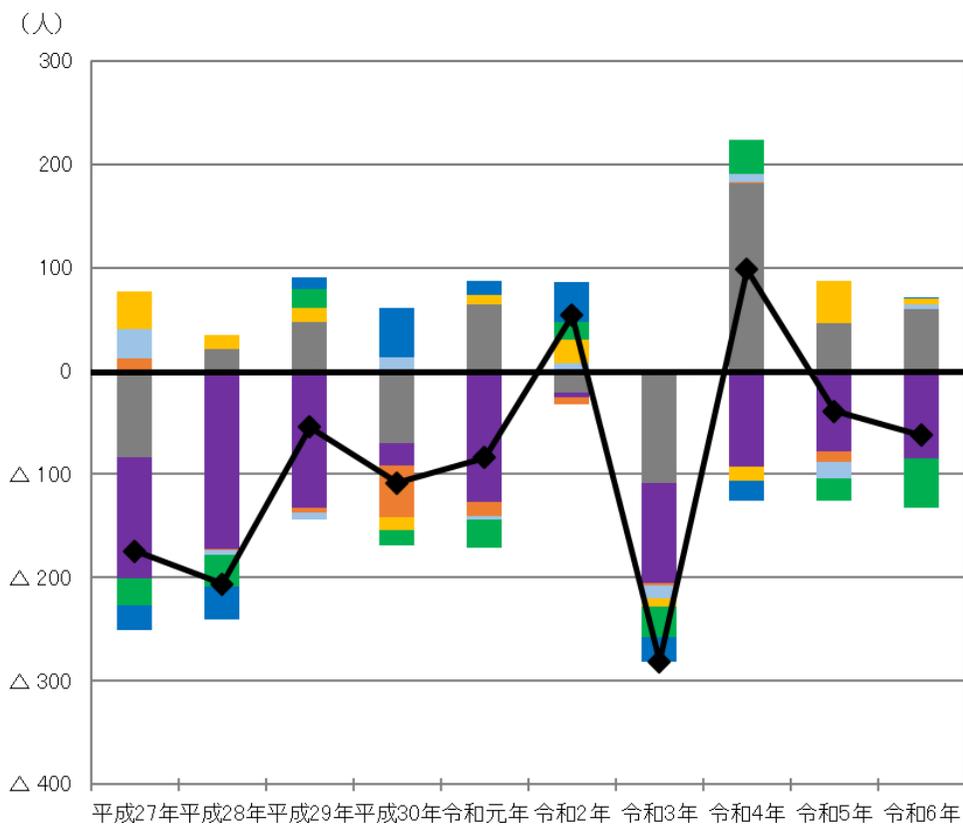
自然増減数の寄与度 = 平成27～令和6年までの自然増減数累計 ÷ 平成27年総人口

社会増減数の寄与度 = 平成27～令和6年までの社会増減数累計 ÷ 平成27年総人口



# 諏訪市の転入・転出の状況（地域別・令和6単年） ⑨

- 令和5年に続いて全体では転出超過だが、県外からは転入超過となった。
- 県外からの転入が多い一方で、諏訪圏域への転出及び諏訪圏域外の長野県内への転出が増えた。



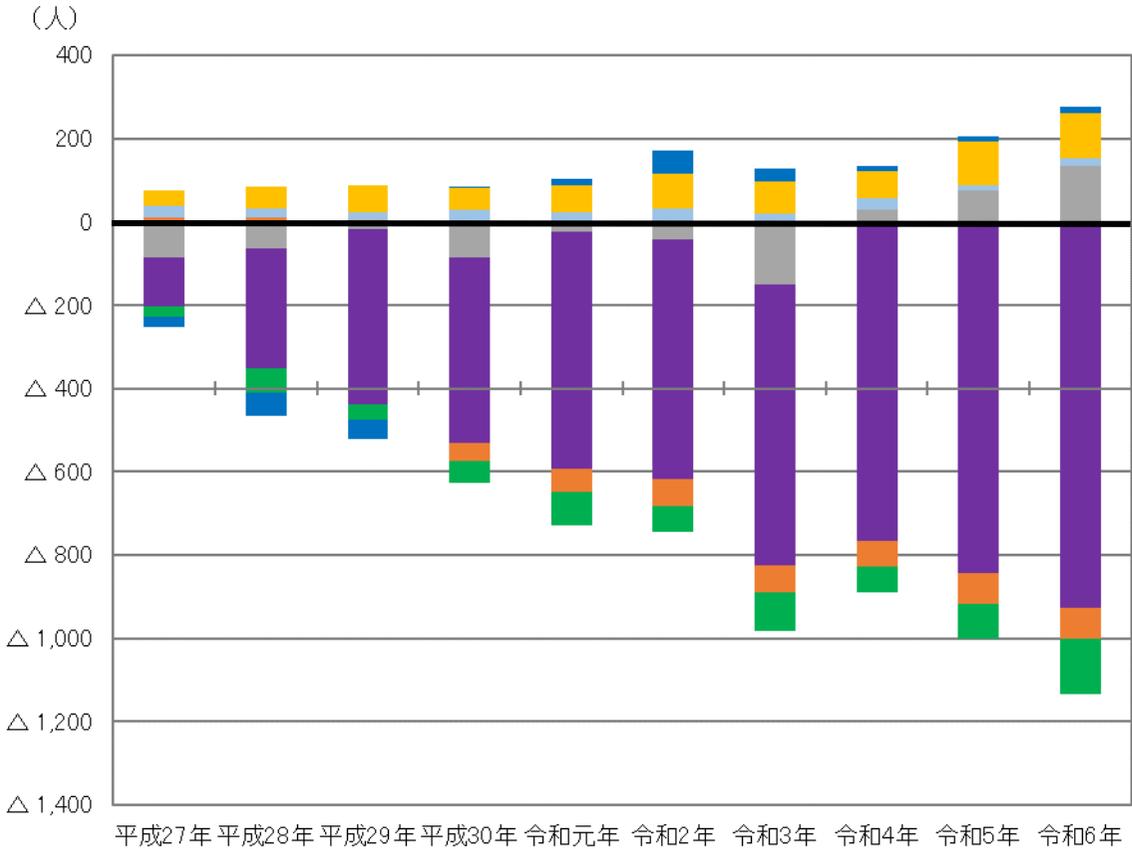
(資料)長野県「毎月人口異動調査」(各年1月～12月の累計)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総数	△ 174	△ 206	△ 54	△ 108	△ 84	54	△ 281	98	△ 39	△ 62
長野県内	△ 90	△ 227	△ 101	△ 38	△ 148	75	△ 173	△ 83	△ 85	△ 122
諏訪圏域	27	△ 55	31	△ 16	△ 21	80	△ 76	10	△ 7	△ 37
岡谷市	△ 24	△ 32	11	48	14	39	△ 23	△ 20	0	1
茅野市	△ 26	△ 31	18	△ 15	△ 27	17	△ 30	33	△ 22	△ 48
下諏訪町	37	14	14	△ 12	9	22	△ 8	△ 13	41	6
富士見町	28	△ 5	△ 7	13	△ 4	8	△ 12	8	△ 16	4
原村	12	△ 1	△ 5	△ 50	△ 13	△ 6	△ 3	2	△ 10	0
その他の長野県内	△ 117	△ 172	△ 132	△ 22	△ 127	△ 5	△ 97	△ 93	△ 78	△ 85
長野県外	△ 84	21	47	△ 70	64	△ 21	△ 108	181	46	60

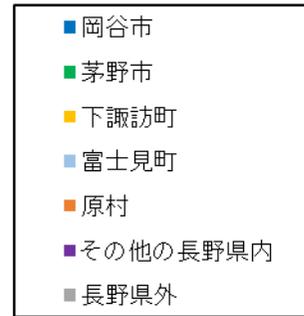
# 諏訪市の転入・転出の状況（地域別・累計）

※平成27年以降の転入・転出の累計

- ・ 岡谷市、下諏訪町、富士見町からは転入超過。茅野市、原村については転出超過だが、諏訪圏域以外の県内への転出が最も多い。
- ・ 県外については、令和4年に転入超過に転じ、令和6年も続いている。



(資料) 長野県「毎月人口異動調査」(各年1月～12月の累計)



累計	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総数	△ 174	△ 380	△ 434	△ 542	△ 626	△ 572	△ 853	△ 755	△ 794	△ 856
長野県内	△ 90	△ 317	△ 418	△ 456	△ 604	△ 529	△ 702	△ 785	△ 870	△ 992
諏訪圏域	27	△ 28	3	△ 13	△ 34	46	△ 30	△ 20	△ 27	△ 64
岡谷市	△ 24	△ 56	△ 45	3	17	56	33	13	13	14
茅野市	△ 26	△ 57	△ 39	△ 54	△ 81	△ 64	△ 94	△ 61	△ 83	△ 131
下諏訪町	37	51	65	53	62	84	76	63	104	110
富士見町	28	23	16	29	25	33	21	29	13	17
原村	12	11	6	△ 44	△ 57	△ 63	△ 66	△ 64	△ 74	△ 74
その他の長野県内	△ 117	△ 289	△ 421	△ 443	△ 570	△ 575	△ 672	△ 765	△ 843	△ 928
長野県外	△ 84	△ 63	△ 16	△ 86	△ 22	△ 43	△ 151	30	76	136

# 諏訪市の転入・転出の状況（年齢別）

- ・ 0～9歳及び30～39歳の県内転入転出は転出超過がつづく。出産後住居購入等によるタイミングでの転出が想定される。
- ・ 25～39歳の県内社会増減は社会減の幅が大きい。

令和6年

年齢	社会増減			県外社会増減			県内社会増減		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	△ 16	0	△ 16	6	5	1	△ 22	△ 5	△ 17
5～9歳	△ 10	△ 10	0	0	1	△ 1	△ 10	△ 11	1
10～14歳	△ 13	△ 6	△ 7	△ 7	△ 3	△ 4	△ 6	△ 3	△ 3
15～19歳	16	20	△ 4	12	13	△ 1	4	7	△ 3
20～24歳	△ 5	△ 11	6	△ 31	△ 17	△ 14	26	6	20
25～29歳	△ 77	△ 47	△ 30	7	△ 1	8	△ 84	△ 46	△ 38
30～34歳	9	△ 9	18	25	6	19	△ 16	△ 15	△ 1
35～39歳	△ 39	△ 11	△ 28	△ 14	△ 4	△ 10	△ 25	△ 7	△ 18
40～44歳	1	2	△ 1	8	8	0	△ 7	△ 6	△ 1
45～49歳	5	△ 2	7	5	△ 3	8	0	1	△ 1
50～54歳	26	8	18	12	9	3	14	△ 1	15
55～59歳	10	6	4	4	△ 3	7	6	9	△ 3
60～64歳	5	2	3	7	6	1	△ 2	△ 4	2
65～69歳	7	9	△ 2	8	6	2	△ 1	3	△ 4
70～74歳	△ 6	0	△ 6	1	2	△ 1	△ 7	△ 2	△ 5
75～79歳	12	5	7	9	5	4	3	0	3
80～84歳	6	3	3	7	4	3	△ 1	△ 1	0
85～89歳	6	2	4	1	0	1	5	2	3
90～94歳	△ 2	1	△ 3	△ 2	1	△ 3	0	0	0
95～99歳	1	0	1	2	0	2	△ 1	0	△ 1
100歳～	2	0	2	0	0	0	2	0	2
計	△ 62	△ 38	△ 24	60	35	25	△ 122	△ 73	△ 49

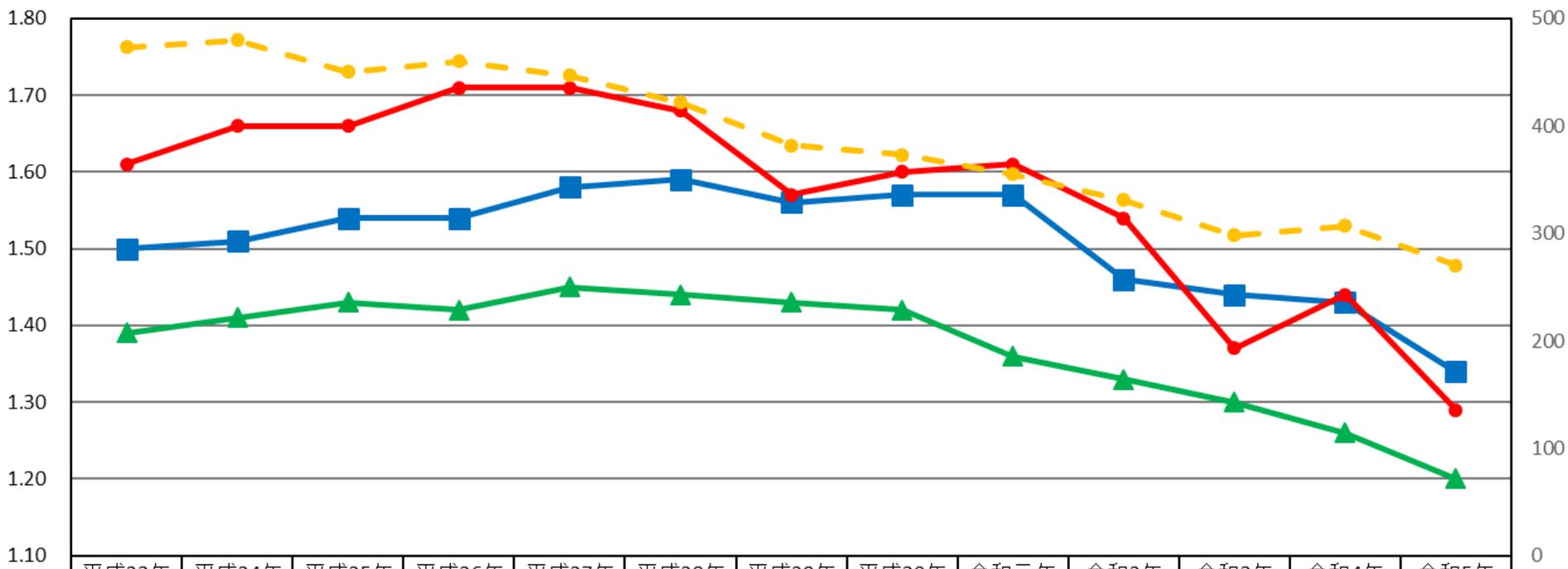
令和5年

年齢	社会増減			県外社会増減			県内社会増減		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	△ 46	△ 28	△ 18	6	△ 1	7	△ 52	△ 27	△ 25
5～9歳	△ 19	△ 6	△ 13	△ 1	1	△ 2	△ 18	△ 7	△ 11
10～14歳	△ 6	△ 6	0	△ 2	△ 6	4	△ 4	0	△ 4
15～19歳	△ 5	△ 14	9	△ 7	△ 13	6	2	△ 1	3
20～24歳	△ 28	△ 4	△ 24	△ 36	△ 12	△ 24	8	8	0
25～29歳	67	26	41	52	13	39	15	13	2
30～34歳	△ 10	3	△ 13	3	△ 2	5	△ 13	5	△ 18
35～39歳	△ 12	△ 33	21	3	△ 19	22	△ 15	△ 14	△ 1
40～44歳	6	4	2	15	5	10	△ 9	△ 1	△ 8
45～49歳	6	△ 12	18	4	△ 8	12	2	△ 4	6
50～54歳	△ 6	△ 6	0	5	3	2	△ 11	△ 9	△ 2
55～59歳	8	6	2	3	5	△ 2	5	1	4
60～64歳	△ 7	△ 5	△ 2	△ 6	△ 1	△ 5	△ 1	△ 4	3
65～69歳	7	3	4	3	3	0	4	0	4
70～74歳	4	2	2	0	0	0	4	2	2
75～79歳	△ 1	△ 1	0	△ 3	△ 3	0	2	2	0
80～84歳	1	3	△ 2	3	4	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1
85～89歳	△ 1	3	△ 4	0	△ 1	1	△ 1	4	△ 5
90～94歳	△ 2	0	△ 2	1	1	0	△ 3	△ 1	△ 2
95～99歳	2	0	2	2	0	2	0	0	0
100歳～	3	0	3	1	0	1	2	0	2
計	△ 39	△ 65	26	46	△ 31	77	△ 85	△ 34	△ 51

(資料) 長野県「毎月人口異動調査」(令和6年1月～12月)

# 諏訪市の出生率及び出生数の推移（令和5年）

- ・ 令和5年は、令和4年の出生率から-0.15ポイント。
- ・ 全国や県と同じく下降傾向にある。（令和6年の市町村別出生率は令和7年秋頃公表予定。）



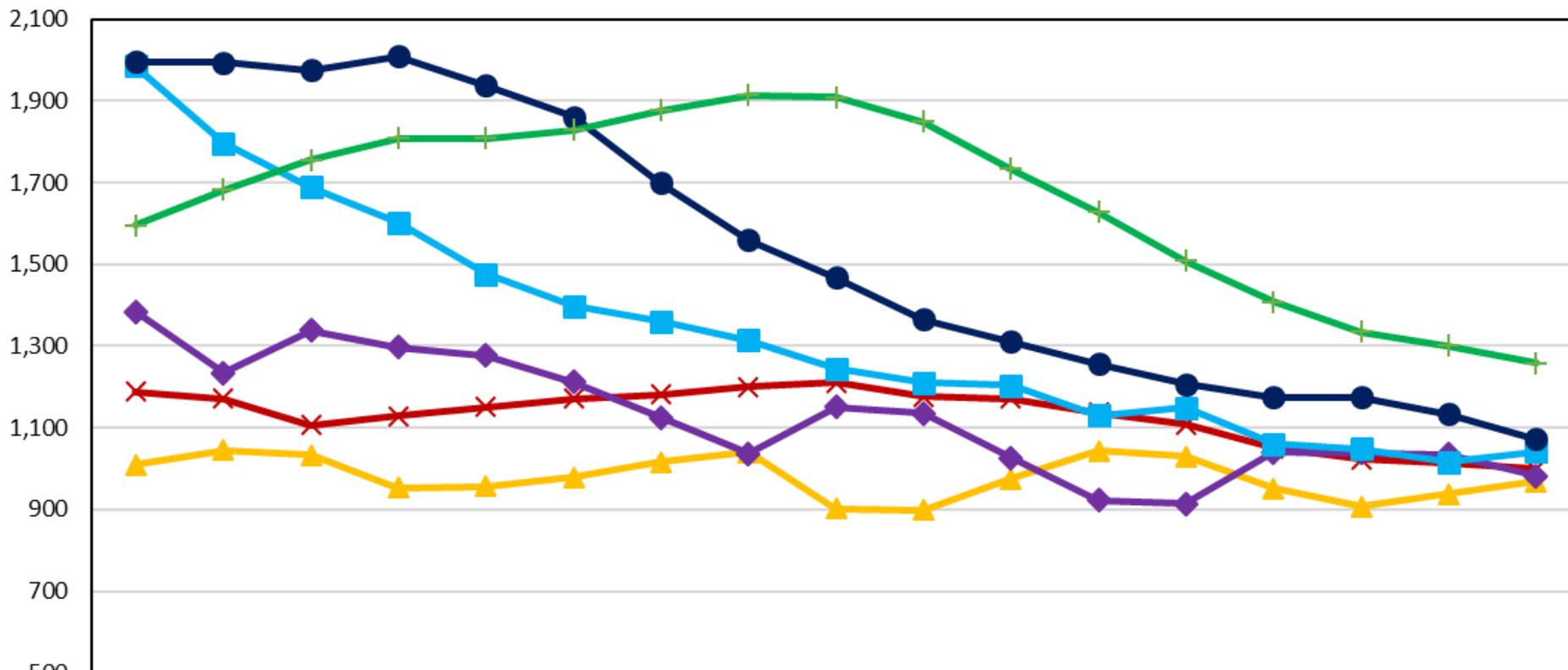
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
▲ 全国	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26	1.20
■ 長野県	1.50	1.51	1.54	1.54	1.58	1.59	1.56	1.57	1.57	1.46	1.44	1.43	1.34
● 諏訪市	1.61	1.66	1.66	1.71	1.71	1.68	1.57	1.60	1.61	1.54	1.37	1.44	1.29
● 諏訪市出生数	473	480	450	460	447	422	382	373	355	331	298	307	270

(資料) 厚生労働省「人口動態調査」、長野県「毎月人口異動調査」  
 ※ 諏訪市については(母の5歳階級別出生数÷5歳階級別女性人口)の5倍を合計して算出した独自推計  
 ※ 出生数については、母の年齢15～49歳まで。

# 参考：諏訪市の女性人口の推移

- 20～29歳は転出数・転入数共に最も多い層であり、この層の女性人口は平成27年から令和3年までは大きく上下していたが、令和3年から比較的安定している。この層の諏訪市への定住支援を行うことで出生数減少に一定の効果を与えると考えられる。

(女性人口)



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
15～19歳	1,189	1,172	1,107	1,129	1,151	1,172	1,182	1,200	1,211	1,176	1,172	1,137	1,108	1,051	1,023	1,013	1,000
20～24歳	1,010	1,045	1,033	953	957	979	1,016	1,041	902	899	976	1,044	1,030	951	908	938	968
25～29歳	1,384	1,234	1,338	1,297	1,277	1,213	1,126	1,036	1,151	1,136	1,026	923	915	1,041	1,039	1,035	982
30～34歳	1,986	1,797	1,689	1,602	1,477	1,398	1,361	1,314	1,245	1,210	1,203	1,131	1,149	1,061	1,048	1,016	1,042
35～39歳	1,996	1,993	1,975	2,010	1,938	1,861	1,700	1,559	1,467	1,365	1,311	1,257	1,207	1,175	1,175	1,134	1,072
40～44歳	1,595	1,683	1,756	1,808	1,809	1,828	1,876	1,914	1,909	1,849	1,733	1,627	1,508	1,408	1,335	1,300	1,259

(資料) 長野県「毎月人口異動調査」(毎年10月1日現在)

## ○令和6年はわずかながら社会減となった

- ・令和4年は社会増であったが、令和5年から引き続き社会減となった。
- ・令和4年から引き続き県外からは転入超過であった。

## ○25～29歳の年齢層で社会減となった

- ・この年齢層は令和元年以降は、令和3年を除いて社会増であったが、令和6年は大きく社会減となっており、令和7年以降の数値を注視していく必要がある。

## ○出生数、合計特殊出生率の低下

- ・出生率は令和4年に一時的な上昇を見せたが、令和5年は再び低下した。結婚や出産を見据える年齢層が、県内他自治体と比べても結婚や子育てをしやすいつ思えるような定住促進をすることが、出生率にも影響すると考えられる。